

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	市街地に身近な快適で安全な空間づくり														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和03年度（4年間）													重点配分対象の該当	○
交付対象	長崎市														
計画の目標	長崎市は、斜面地が多く平坦地が少ないという地形的特性より、道路や河川、公園をはじめとした多くの公的施設が狭小で交通アクセスも悪く、日常的な暮らしにおいて、また、観光を振興の大きな柱としたまちづくりにおいても、問題点の1つとなっている。また、長崎市域において人口減少や高齢化が進んでおり、持続可能な都市構造の実現を目指し、主要な地域の都市機能の充実・既存の都市基盤の整備を図る必要がある。 そこで、主要な地域となる市街地及びその周辺において、道路、広場等の整備や都市機能の誘導・定住基盤の充実・地域資源の活用を行うことで、地域住民ならびに観光客が快適で利用しやすく親しみやすい魅力ある環境づくりを目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,604	A	2,586	B	0	C	18	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0.69	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	R2末	R3末
1	長崎商工会議所の歩行者通行量調査における、「まちなか（市内16箇所）1日あたりの歩行者通行量」を129,915人/日から135,885人/日に増加 まちなか（市内16箇所）における休日の歩行者交通量を調査する。	129915人	132900人	135885人
2	長崎市の市民意識調査における、「中心市街地（浜町～長崎駅～新大工地区周辺）を活気があると感じる市民の割合」を43.8%から48.0%に増加 中心市街地（浜町～長崎駅～新大工地区周辺）を活気があると感じる市民の割合を調査する。	44%	47%	48%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	長崎市	直接	長崎市	－	－	都市再生整備計画（まちなか地区（第2期））	道路、地域生活基盤施設、高質空間形成施設等 195ha	長崎市	■	■				165		－
	A10-002	都市再生	一般	長崎市	直接	長崎市	－	－	都市再生整備計画（長崎駅周辺地区）	道路、高次都市施設、地域生活基盤施設、高質空間形成施設 31ha	長崎市	■	■				695	1.34	－
											小計						860		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	長崎市	直接	長崎市	－	－	暮らし・にぎわい再生事業（長崎駅周辺地区）	賑わい交流施設整備（イベント・展示ホール、会議室）等	長崎市	■	■	■	■		1,726	1.34	－
											小計						1,726		
											合計						2,586		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	長崎市	直接	長崎市	—	—	まちなみ整備事業	歴史的建造物の保存及び修景 に係る助成	長崎市	■	■				8		—
		都市再生整備計画（まちなか地区）の取組みに併せて、歴史的建造物の保存及び修景に係る助成を行い、良好な景観を形成することで魅力の顕在化を図る																	
	C10-002	都市再生	一般	長崎市	直接	長崎市	—	—	賑わいと活力あるまちづくり事業	賑わいづくり事業及び助成	長崎市		■				10		—
		都市再生整備計画（まちなか地区）の取組みに併せて、市民等と協力して行う事業の実施・助成することで、地域の賑わいを創出させる。																	
											小計						18		
											合計						18		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価結果の合理性・客観性を担保するため、評価が適切に遂行されたことを中立・公平な立場で確認してもらい、今後のまちづくり方策等について意見を求めることを目的として、第三者によって構成される「長崎市都市再生整備計画事業評価委員会」を設置し、事後評価を実施。	令和5年2月1日（水）
	公表の方法 長崎市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

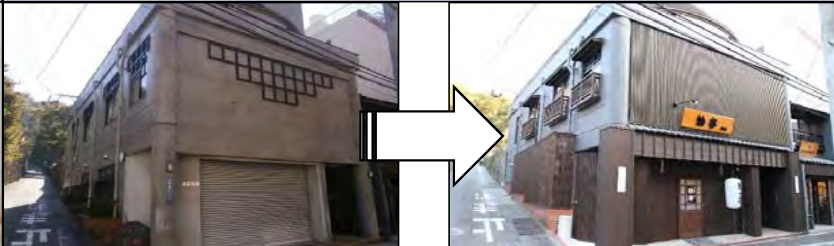
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標1：まちなか1日あたりの歩行者通行量 →評価値は、最終目標地を下回る結果となった。 指標2：中心市街地を活気があると感じる市民の割合 →評価値は、最終目標値を下回る結果となった。 出島メッセ長崎建設や、本計画から令和2年度創設の都市構造再編集集中支援事業（個別支援制度）に移行した都市再生整備計画事業（長崎駅周辺地区、まちなか地区(第2期)）で道路・公園・歩行支援施設等の整備を行い、中心市街地及びその周辺の都市機能の強化に努め、賑わいの創出を図ってきたが、新型コロナウイルスによる行動制限の影響等もあり、指標の達成に至らなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	本計画で整備した出島メッセ長崎の運営状況として、こちらも新型コロナウイルスの影響を受け、学会等一部のイベントでは中止や延期、ハイブリット会議への移行が見られたものの、新たな案件誘致やイベント展示が盛況なこともあり、年間利用者数は目標の610,300人を上回る663,843人となった。なお、開業2年目の利用者数も現在の予約だけで約61万人を見込んでおり、多くの来訪者を呼び込むとともに市民交流を促進する場としての機能を果たしている。 また、交流拠点施設の整備により、関連3施設での新規雇用者は100名を超えており、雇用の創出にもつながっている。

○特記事項（今後の方針等）

本計画を継承した都市構造再編集集中支援事業（長崎駅周辺地区(第2期)、まちなか地区(第3期)）において、引き続き中心市街地及びその周辺地域の都市機能強化・都市基盤整備を図り、誰もが快適で利用しやすく親しみやすい魅力ある環境づくりを目指す。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	135885人	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通行量が減少したことから目標値を達成できなかった。（R3調査日までに出島メッセ長崎開業が間に合わず、本計画が与えた影響を完全に反映できていないことから、R4の調査結果を実績値として採用。）
	最 終 実績値	103317人	
2			
	最 終 目標値	48%	本計画事業が完了したR3調査では、R2の結果から12ポイント以上上昇したものの、新型コロナウイルス感染拡大による外出・イベント自粛等の影響を受けたことから目標値を達成できなかった。
	最 終 実績値	30%	

主な整備内容

計画の名称	1 市街地に身近な快適で安全な空間づくり		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和3年度 (4年間)	交付対象	長崎市
事業区域	都市再生整備計画(長崎駅周辺地区) ※R2年度都市構造再編集中支援事業(個別支援制度)に移行		
		 	
1-A-2 都市再生整備計画 (長崎駅周辺地区)		出島メッセ長崎(会議室・リハーサイドデッキ等)	
1-A-3 暮らし・にぎわい再生事業 (長崎駅周辺地区)		出島メッセ長崎屋外(緑化・イベントスペース等)	
1-A-1 都市再生整備計画 (まちなか地区)		 	
1-C-1.2 効果促進事業		駐車場・駐輪場	
		長崎駅西口誘導サイン	
暮らし・にぎわい再生事業(長崎駅周辺地区)			
			
出島メッセ長崎(イベント・展示ホール等)		出島メッセ長崎(ホワイエ・廊下等)	
都市再生整備計画(まちなか地区) ※R2年度都市構造再編集中支援事業(個別支援制度)に移行		効果促進事業	
			
新庁舎周辺道路	魚の町公園	大浦地区公民館EV設置	まちなみ整備事業(町家等を活かした改修に工事費の一部を助成)